メタリストを応援するネットワーク情報誌

シートメタル 九州

Sheet Metal KYUSHU

2011 秋号
第31号

CONTENTS

特　集
円高に関する考察 …… 2

企業探訪
第 30 回
シンエイメタルテック株式会社…… 3

工業会からのお知らせ
第 5 回 板金図面検定 合格者発表 … 4
平成 23 年度 パワーアップ研修会
結果発表会開催 …… 5

マイブーム
暑さ対策・節電対策
～今夏の弊社の取り組み～ …… 6

熱風！亜細亜見聞録
Vol.2
韓国調達ミッション
～初めての輸入～ …… 7

TOPICS
プランター菜園 …… 8

編集後記…… 8

特集

円高に関する考察

先日発表されたアメリカの連邦公開市場委員会の声明で、事実上のゼロ金利政策を少なくとも 2013 年半ばまで続けることや追加緩和の可能性が言及され、景気判断も下方修正されました。

この決定について、バーナンキ連邦準備制度理事会議長などは賛成したようですが、ダラス地区連銀のフィッシャー総裁他 3 人が「13 年半ば」という期間を明言することに反対。連邦公開市場委員会で 3 票の反対票が投じられたのは 1992 年以来のことだということです。

連邦準備制度理事会は QE3（量的緩和策第 3 弾）を打ち出さなかったものの、多くの投資家にとって今回の政策判断は QE2.5 と理解されているようです。バーナンキ議長が反対 3 人を押し切ってよく決断したところでしょう。

リーマン・ショックから約 3 年間が経ちますが、100 年に一度と言われた経済危機が 3 年程度では完治するはずがありません。適切な経済運営をしても二番底になる可能性はまだあります。

しかし、現時点ですぐに QE3 になるとは限りません。もちろん今後の経済動向も関係するでしょうが、インフレ懸念のリスクを冒してまで実施するとは思えません。その鍵は予想インフレ率でしょう。

昨年 10 月の QE2 の時には、今後 5 年間のインフレ予想の平均は 1.3% 程度でした。これは連邦準備制度理事会が設定しているとされる 2% よりかなり低い数字でした。それで安心して QE2 を打ち出せたようです。

ところが現在のインフレ予想は 2% を少し下回るレベル。ここ数日間で急に低下していますが、それでも 1.7% 程度。これでは新たな QE3 とするのは少し早すぎるでしょう。最も、更なる景気後退が明らかになってインフレ予想がさらに下がったら QE3 となる可能性はあります。

とはいうものの、日銀の金融緩和度合いと比べると、日本の方が硬直的で引き締め気味に見えます。ということは、円の方がドルに比べて相対的に少なくなりがちになって、円高の傾向は日本の介入を警戒しながらもなかなかなくならないでしょう。

そのため、ちょっとしたイベントがあると円高が顕在化し、円ドルレートで史上最高値の更新も十分にあり得る状況です。

復興補正予算が遅れて回復が遅々たる歩みの中で、米国で二番底の可能性があるとともに、その上に政策不在ともいえる円高リスクを抱えて、日本経済の復活は遠のくばかりのように思えます。

我々中小企業の経営者にとって、これは決して「対岸の火事」ではありません。100 年に一度であったはずの不況は、もしかしたらその「第一波」に過ぎなかったのかもしれないのです。

事ここに至り、我々はさらに知恵を絞り、身を削ってでも会社を、引いては日本経済を守り抜かなければなりません。

先達が遺してくれた、日本の「ものづくり」の技術と情熱の火を、ここで絶やしてしまわないようにするためにも…

〈宮本　健司　㈲ユー・アイ技研〉

企業探訪

第30回

シンエイメタルテック株式会社

九州シートメタル工業会の会員企業を訪問して紹介していくシリーズ第30回目は唯一佐賀県の会員企業でありますシンエイメタルテック㈱を訪問し、田原社長と船山管理部長にお話をお伺いしました。

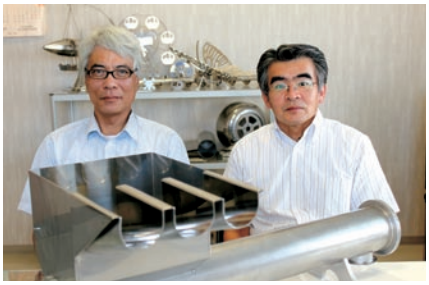
米倉庫を改造した工場全景

Q：会社の歴史を教えてください。

A：昭和42年に先代社長（現社長の父）が勤務先から独立し、自宅の庭（佐賀市）で配電盤製作を始めたのが創業です（奥さんを含め3名）。昭和46年には会社を設立し千代田町に移転しました（10名程度）。その後平成3年に、社屋と工場が完成、平成5年から順次レーザー等の設備を充実させ、平成18年にはもともと農業倉庫であった現工場を買い、移転してきました。

Q：どんな会社経営をやってこられましたか。

A：私（社長）が入社したころ（平成3年）は配電盤製作しかやっておらず、職人技に頼った会社でした。そこで配電盤からの脱皮と職人技は大切なことですがベテラン社員がいないと会社が回らなくなるのを防ごうと考え、当時佐賀県ではあまり導入されていなかったレーザー切断機を導入しました。それが功を奏し配電盤以外の仕事が増え、2号機、3号機とレーザーを導入していきました。また、複合的受注を目的に旋盤やフライス盤を導入したところ人材にも恵まれここまで順調に来ています。



船山部長（左）と田原社長

Q：優秀板金製品技能フェアーに力を入れておられるようですが、

A：きっかけは社員のスキルアップになればと思ったことでした。一回目に出したときに銅賞だったので「せっかくなら金賞をとるぞ！」とみんなで頑張りました。おかげで金賞を受賞する事が出来ました。

Q：今後の方針をお聞かせください。

A：今後の方向としては曲げ、溶接でシンエイメタルテックでなければと言われるような「差別化」を図る事、今勤めてくれている社員が優秀な人が多いのでこの人たちがもっと力を 発揮できるシステムを作る事を目指しています。また将来的にはセットメーカーを目指したいと思っています。そのためにも東京などへ出かけ勉強中です。

溶接仕上げ作業風景

入社前は会計事務所にお勤めだった田原社長。だからでしょうか？やってこられたことや今後のビジョンがよく伝わり、取材もスムーズにいきました。最近ゴルフを始められたそうです。いつかご一緒にプレーしたいものです。

それとホームページにも掲載されているキャッチフレーズ「世界にはばたく技術」が印象的でした。

〈安永　修　㈱ヤスナガ〉

会社概要

所在地	佐賀県神埼市千代田町崎村515
ＴＥＬ	0952-44-2150
ＦＡＸ	0952-44-4384
商　号	シンエイメタルテック株式会社
営業品目	精密板金加工・レーザー加工・NCTパンチプレス加工・各種曲げ加工・各種溶接

板金図面検定 合格 おめでとうございます

第５回目の『板金図面検定試験』が平成 23 年８月 27 日に実施されました。
７月に検定前講習を福岡・熊本で行い、下記 27 名（１級・12 名、２級 15 名）の方が、難関を突破され見事に合格されました。

板金図面検定合格者名簿

１級合格者

合格年度	作　業	氏　名	事　業　所	資格取得番号
23 年	板金図面	畑瀬　清夏	株式会社　三松	2011-1-0031
23 年	板金図面	新谷　隼人	株式会社　三松	2011-1-0032
23 年	板金図面	植尾　有紀	株式会社　三松	2011-1-0033
23 年	板金図面	渡辺　秀之	株式会社三藤製作所	2011-1-0034
23 年	板金図面	﨑原　慎司	株式会社　玄海技研工業	2011-1-0035
23 年	板金図面	廣津　　礼	リョーユウ工業　株式会社	2011-1-0036
23 年	板金図面	高木　博和	株式会社　玄海技研工業	2011-1-0037
23 年	板金図面	田村　将則	株式会社　西日本電機器製作所	2011-1-0038
23 年	板金図面	福井　淳治	株式会社三藤製作所	2011-1-0039
23 年	板金図面	溝川　卓也	リョーユウ工業　株式会社	2011-1-0040
23 年	板金図面	中島　忠夫	有限会社　真和ステンレス工業	2011-1-0041
23 年	板金図面	田原　浩二	ナサ工業　株式会社	2011-1-0042

２級合格者

合格年度	作　業	氏　名	事 業 所	資格取得番号
23 年	板金図面	井上　淳吾	株式会社　三松	2011-2-0045
23 年	板金図面	松本　綾子	株式会社　山水製作所	2011-2-0046
23 年	板金図面	稲葉　嘉孝	株式会社　三松	2011-2-0047
23 年	板金図面	吉田　政隆	株式会社　シマヅテック	2011-2-0048
23 年	板金図面	坂田　直大	株式会社　三松	2011-2-0049
23 年	板金図面	井手　崇博	有限会社　鶴元製作所	2011-2-0050
23 年	板金図面	牟田口嵩史	株式会社　三松	2011-2-0051
23 年	板金図面	井上　貴光	株式会社　シマヅテック	2011-2-0052
23 年	板金図面	山村　隆司	株式会社三藤製作所	2011-2-0053
23 年	板金図面	和田　吉弘	有限会社　鶴元製作所	2011-2-0054
23 年	板金図面	江崎　宏行	株式会社　三松	2011-2-0055
23 年	板金図面	末次　竜也	株式会社　三松	2011-2-0056
23 年	板金図面	松本　翔伍	株式会社　シマヅテック	2011-2-0057
23 年	板金図面	永藤　剛志	株式会社　鐘川製作所	2011-2-0058
23 年	板金図面	武嶋　諒介	株式会社　鐘川製作所	2011-2-0059

板金図面検定　１級合格者

今回の試験で、板金図面に関して基本的なことを学べ、仕事に対しての自分の理解も今まで以上に深まりました。
社内勉強会を開催し、人に教えたり、自分が解らない時には頼れる仲間がいたり、みんなで助け合い・協力できたのもよかったです。
今回得た知識を日常業務にきちんと生かし、一層努力していきたいと思います。

畑瀬　清夏　　株式会社　三松

板金図面検定　２級合格者

今回初めて受験させていただきました。
私は設計をしているのですが、恥ずかしながら、材質に関してのほとんどを知りませんでした…。
しかし受講させていただき、様々な材質を知ることがました。
今回学んだ事を仕事に活かしていきたいと思います。
次回は１級取得を目標に頑張ります。

松本　綾子　　株式会社　山水製作所

平成23年度 パワーアップ研修会 結果発表会開催

パワーアップ研修会のフォローアップという位置づけにて、成果発表会が実施されるようになって２回目を迎えた今回は、去る８月３日に７社 12 名の受講生にて発表会が開催されました。

今年の発表会は、作業時間の短縮といった生産性の改善に焦点をあてたもの以外に、部下や職場のモチベーションをアップさせた事例や会社全体の設備レイアウトの見直しにまで踏み込んだ大掛かりな 5S の改善事例など、研修会で学んだことを生かし、職場改善に熱心に取り組んだ事例が発表されました。プレゼンテーションスキル自体も昨年よりレベルアップし、わかりやすい発表を心掛けたものが数多くみられ、発表会全体としても昨年よりさらにレベルがアップした印象でした。審査は昨年と同様、工業会会長、参加企業経営者、講師、発表者、工業会事務局らで執り行われました。今年はどれもレベルが高く、上位の評価が拮抗していただけに成績優秀者を選び出すのは大変でした。（審査結果は下記を参照、受賞者コメントもあわせて掲載）総評では講師の鈴木先生より『5 月の研修会からわずか数か月でこれだけの成果をだせたのは大変に素晴らしい。一年間という期間で考えたら、あと３～４つは同じような活動ができるはずだから、是非とも頑張って下さい』との激励をいただきました。

発表会終了後の懇親会では、他社の事例を勉強するために各社の職場見学を実施してみたいとの声があがるなど、改善意欲を今後も継続してくれそうな反応がみられ、研修を終えた受講生が大変に頼もしく感じられました。主催する側としても発表会の成果を実感でき、とてもうれしい時間を過ごすことができました。

参加者の皆さん

成績優秀者

最優秀賞

野中　和登
ナサ工業㈱　製造部塗装課課長

この度パワーアップ研修会を経験して、とても大きな衝撃を受けました。日頃何げにやっている仕事への視点を変えるだけで様々なムダやムラが見えました。リーダーとしての責任感から工程管理や納期の軌道修正に追われ、どこか「忙しさ＝頑張っている」という錯覚の中で、色々な見えてなかった事に気づかされました。

今回最優秀賞をいただいて、発表までに取り組んだ色々な資料作りや改善が認められた事が大きな自信となりましたので、この経験を生かし今後も様々な改善を形にしていこうと決めました。

優秀賞

井上　淳吾
㈱三松

ハイレベルな発表会の中で、優秀賞という評価を頂き大変励みになった。

当日は二日間の研修で学んだ事をコンパクトにまとめ、自分なりの表現が出来た様に思う。

今後も「気付き」を大切にし、具体的な「改善」へ結びつける活動を継続していきたい。

敢闘賞

佐藤　一洋
㈲真和ステンレス工業

今までは、会社の改善に対し漠然としていたが研修を受け、会社の問題点を考え改善策を実行することによって、取り組むきっかけとなり成果も得ることが出来ました。

一番良かったことは、社員全員で取り組んだ事で、自分も含め社員一人一人の意識向上につながった。これを期に今後も継続し、より良い会社づくりを目指して行きます。

〈田名部　淳　㈱田名部製作所〉

★マイブーム★

暑さ対策・節電対策

～今夏の弊社の取り組み～

「地球温暖化」や「節電」のキーワードの影響もあってか、例年以上に暑い（暑く感じる）夏となりました。そんな中、弊社でこの夏に取り組んだ暑さ対策・節電対策を御紹介します。

1. パソコンのディスプレイ発熱対策

まず、6月初め頃に事務所と設計室が暑くなりました。人口密度もさることながら、みんなが使っているパソコンが熱源となり、加えて2階の設計室は1階事務所からの熱が上の階へ上ってきているような。かといって、エアコンをつけるには少し早いような…

そこで始めたのは、パソコンのディスプレイについて輝度設定を下げることと離席時こまめに電源を切ること。輝度の設定は購入時のままだったので、ほとんどが100%になっていました。席の場所や個人差で多少ばらつきはありますが、50～60%まではほぼ違和感なく下げることができました。また、ディスプレイ電源もパソコン側でも電源オフ設定はできますが、ディスプレイのスイッチはだいたい正面の押しやすい所にあるので、みんな離席時にポチッと押して行くようにしました。節電効果については微々たるものなのでしょうが、離席時のディスプレイ電源オフの徹底により、発熱は結構抑えられました。

2. 照明スイッチの個別化

照明のスイッチはもともとエリア毎（器具6つずつ）だったのですが、事務所と設計室でスイッチを器具毎に個別化しました。写真の通り、器具からヒモがぶら下がって見た目は違和感がありますが、スイッチを個別化することでそれまでは全て使用していた照明も約3分の1まで抑えることが出来ました。ちなみに、個別化した当初、ぶら下げたヒモが少し短く届かない人からのクレームがでたのですが、その後チェーンで延長したり孫の手みたいな棒を作ったりとそれぞれで工夫しています。

照明スイッチを個別化した設計室

また、8月からは工場の水銀灯照明についてもエリア毎だったスイッチを個別化しました。今後、各々の稼働時間のデータをとり、稼働率の高い箇所についてはLED化も検討していきたいと考えています。（400W水銀灯をLED化すると、消費電力は約3～4分の1になります。）

3. グリーンカーテン

工場の敷地内で一番南に位置する機械加工（ブランク）エリアは、最も気温の上昇が激しく過酷な作業環境となっています。そこでこのエリアの外壁を緑化してグリーンカーテンとし工場内の温度上昇を抑える為、外壁に沿ってゴーヤとアサガオ、シカクマメを植えました。その長さ約40m。各部署に2～4個のプランターが割り当てられ、他の部署と実の数、大きさを競いつつ、収穫を楽しみに水やり等の世話に励んでいます。（枯らすと社長からペナルティが課せられることもがんばっている一因かも…）また、中には水だけでなく栄養剤を与えている部署も。（ドーピング？）

しかし残念ながら植えたのが6月末と少し遅かった為、肝心の暑さ対策としての効果が出るにはもう少し時間がかかりそうです。間に合うと良いのですが…

グリーンカーテン（成長中）

これからの季節、暑さ対策は考えなくてよくなりますが、節電対策については今後も引き続きいろいろと考えていきたいと思っています。

〈長澤　敏光　ナサ工業㈱〉

熱風！亜細亜見聞録

Vol.2

韓国調達ミッション～初めての輸入～

きっかけは今年３月中旬、部材納入商社からの一本の電話からであった。

東日本大震災の影響で取引工場が全壊し、再稼動の目処が全くたたないため今月の納品が難しいとのことであった。このご時世、某自動車工場方式ではないが、いる物を、いる時、いるだけ調達するのが弊社でもセオリーとなっていた。置き場所、在庫負担軽減の意味合いもあるが、それ以上に、何時でも手に入るのが“普通”であったからだ。

震災後の自動車業界の調達に対する混迷ぶりを見ても、あれだけ大手でもリスク分散をしていなかったわけだから、我々が出来ている筈も無かった。想定すらしていなかった。

慌てた。弊社もひと月分の在庫しかもたなかったため、商社に別の工場を緊急に捜してもらった。数社対応出来る会社が見つかったが、まるっきり条件が折り合わない。一番条件が近い会社でも、単価はこれまでの倍以上である。これでは今度はこちらが採算割れ、赤字出荷となってしまう。

困った。ふと昨年申し込んで採択されていた国の RIT 事業を思い出した。(詳細は後述)
行政 (JETRO・北九州市貿易振興課) にすぐ相談した。

採択事業開始は８月からであったが、前倒しで動いてくれた。韓国の企業数社をリストアップしてくれ、現地の職員が直接相手企業まで出向いてくれ調査リポートまで克明に送ってくれた。

韓国企業訪問風景

見積依頼～サンプル製作～工場訪問～契約～船便輸入までとんとん拍子に進んだ。行政への相談からひと月以内で。海外企業との取引における諸注意から輸入書類・関税に至るまで全てフォロー頂いた。

参考までに、輸入価格は、輸送費、貿易諸関税全て入れてもこれまで国内調達していた価格より 30% 安くなった。

前述の RIT（Regional Industries Tie-Up Program）事業とは、地域間交流支援事業のことで、海外とビジネスを行いたいが、ノウハウ、ネットワーク不足により展開できない企業がジェトロ等の有する海外ネットワークをフルに活用し行っていく支援事業で、海外出張調査、ミッション派遣、海外有識者・有力企業の国内招聘にかかるセミナー・シンポジウム、企業交流会・商談会開催等のアレンジと事業経費の補助が受けられる。

弊社は昨年度、北九州の地元企業６社で申請をし、韓国－慶尚南道地域企業との機械部品・材料加工の双方向での展開事業ということで採択を受けていた。

８月末も訪韓し、希望する形態（調達・販売・共同研究等）を事前に調査頂き、現地にて、商談会・企業訪問をし、新たな展開がまた始まろうとしている。

韓国企業との個別商談会

リーマンショック・長期間に及ぶデフレ・販売価格の下落・そして震災、と、厳しい時代が続くなか、知ってか知らずか材料の値上げ傾向！アジアまで拡大してビジネスを考えた場合、我々北部九州は地理的にみて好条件な立地ではと考える。たとえ近くてもそこは外国。注意すべき点も多いが、我々中小零細企業も広くアジアを意識した経営が“普通”の時代になったように感じる。

サッカー国際Ａマッチの度に侍ブルーのユニフォームに袖を通し“ニッポンコール”を連呼するわたくしが語るのも何であるが…m(_ _)m

〈鶴元清一郎　㈱鶴元製作所〉

参加日本企業と日韓行政の皆様

TOPICS

☀プランター菜園☀

最近はプランター菜園にはまっています。ちょっとしたスペースやベランダで手軽にできるプランター菜園は、野菜が必要な時に収穫して、すぐに食卓へ出せるから、いつでも新鮮！たとえベランダしかなくても、プランターを置ければそこはもうミニ農園です。誰でもコツさえつかめば簡単に収穫することができます。今ではトマトやキュウリ・ナスなど様々な野菜を収穫しています。ただ最低限の手間はかかります。『八百屋に行けば安く手に入るのでは？』という声もありますが、自分で育てた野菜は一味ちがいます！是非、皆さんもチャレンジしてみてはいかがでしょう。

〈石井　光俊　㈱玄海技研工業〉

TOPICS コーナーは、編集委員以外の多くの会員様の意見や写真を掲載していきたいと思います。掲載ご希望の方は、下記事務局まで！

編集後記

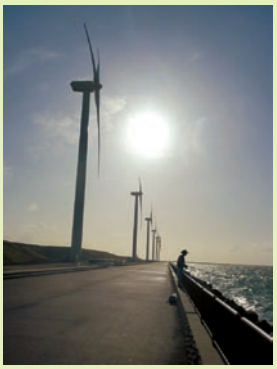
今号より web 版としての発行がメインとなった新生シートメタル九州。いかがでしたでしょう？というより、私の初編集長回がリニューアルの重要なタイミングということで、何をどうすればいいやら戸惑ってばかりでした。ですが、委員の皆さん、事務局の皆さんのご指導やアイディアもあり、よい内容の号になったと思います。今後も、web ならではのことも考えつつ、新しいアイディアを私も出していきたいと思います。

9 月も終わりに近づき、この数日は日が暮れると少し肌寒さも感じるようになってきました。

この数ヶ月、記憶から少しづつ薄れつつあった震災のことも、罹災半年の節目からまた報道も増し、まだまだ被災地の方々の本格的な『復興』は程遠いんだなと改めて考えさせられました。

手前味噌な話なのですが、この度熊本で弊社が属する工業会では、熊本の PR キャラクターである『くまモン』をデザインしたグッズを作成し、その収益を被災地の子供たちに寄付しようというプロジェクトを立ち上げました（実は私が委員長なんですが）。「遠く離れていても、未来を担う子供たちを支えてあげたい。」その思いは、被災地の方たちが復興を実感できるその日まで、忘れないようにしたいと思います。

有限会社 ユー・アイ技研
宮本 健司



今回の表紙

北九州市・響灘地区の風力発電機 10 基の発電量は、約 3,500 万 kw/h、これは約 1 万世帯分の年間使用電気量に相当するそうです。

震災後、未曽有の事故となった福島原発事故を受けて、先日衆院を通過した再生エネルギー法案。日本は、本当に「脱原発への道」を歩み出すのでしょうか？この日、響灘に向かって並んでいる 10 基の風力発電機は、玄界灘から吹き付ける強い海風を受けて、轟音を立てて、勢いよく廻っていました。

〈表紙担当：大和　啓介　三和金属㈱〉

シートメタル 九州　第 31 号
（九州シートメタル工業会会報）

発行日　平成 23 年 9 月 25 日
発　行　九州シートメタル工業会
事務局　㈱アマダ　九州支店
〒 812-0893　福岡市博多区那珂 6-25-15
TEL 092-573-3655

九州シートメタル工業会　ホームページ　http://www/kyushu-sma.gr.jp
ホームページアドレス・メールアドレスを変更された会員の方は、事務局までご連絡下さい。